

明 表 信 所

平成25年12月

西脇市長

本日ここに、第42回西脇市議会定例会の開会に当たり、私の市政運営に対する所信を申し上げ、市議会並びに市民の皆様の御理解、そして御協力を賜りたいと存じます。

私は、先の選挙におきまして、多くの市民の皆様の温かい御支援をいただき、合併後第2代となる西脇市長に就任させていただきました。

歴史と伝統ある西脇市政のかじ取りを担うこととなり、その使命と責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は、市民の皆様がこのまちに誇りと自信を持っていきいきと暮らせるまちにしたい。そして、未来を担う子どもたちや孫たちの世代も安心して暮らせる西脇市を創り上げたい、という強い思いで、市政に臨む決意を固めました。

市長として、市民の皆様の負託に応えるべく、全力で市政運営に当たってまいりたいと存じますので、格別の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、現下の経済情勢を見ますと、いわゆるアベノミクスの「三本の矢」により、長期にわたる景気低迷からの脱却に期待が寄せられておりますが、まだまだ地方には景気回復の実感がないというのが現状であります。

そのような中で、私が愛してやまないふるさと・西脇市においては、

地域経済の低迷が長期化しており、このことが市民生活にもマイナスの影響を及ぼし、市全体が活力を失っていると感じております。

私は、「民間力で西脇復活」というスローガンを掲げてまいりましたとおり、民間企業で培った知識と経験をフルに発揮し、ふるさとを何とか元気にしたい、そして、次代に向け、力強い復活への歩みを進めてまいりたいという思いでいっぱいであります。

私は今回の選挙において、「経済の復活」、「教育の復活」、「住みやすさの復活」という柱を掲げ、私の思いを訴えてまいりました。

これらの柱に基づき、市政運営における私の基本的な考え方を申し述べたいと存じます。

一つ目は、「経済の復活」です。

西脇市の経済の再生・復活には、産業構造の多重化を進めていく必要があると考えております。

そのためには、本市の発展を支えてきた播州織をはじめとする地場産業や既存商工業の振興など、産業基盤をしっかりと支えつつ、企業誘致や新産業の導入を図っていくことが大切です。

地場産業の振興には、製品の付加価値を高める取組や仕掛けづくりが重要だと考えており、これらの取組に対し支援を行うとともに、産

学官連携や異業種交流などによる新たな事業展開への支援についても検討してまいります。

また、商工業の振興については、にぎわいのある商店街づくりや購買意欲を促進する取組への支援を行うほか、意欲ある担い手の育成や外部からの流入を促進するため、本市で起業を志す方々をサポートできるような仕組みづくりも必要と考えております。

新産業の導入による働く場の創出、雇用の確保は市民の皆様の切実な願いであり、上比延工場公園への企業誘致や市内既存用地への産業誘導を図るため、私自身の持つネットワークをフルに活用して取り組んでまいります。

農業については、有機の里づくりからはじまる自然にやさしい農業を基軸として展開することで、農の面から活力とにぎわいのあふれるまちづくりを進めてまいります。

とりわけ、黒田庄和牛や日本のへそゴマなどの特産品は、地域の魅力の一つとしてさらなるブランド力の強化を目指すとともに、新たな特産品の開発も積極的に進めてまいります。

また、人口減少が続く中で、まちの魅力を高め、にぎわいあるまちづくりを進めるためには、交流人口の増加を図る取組がますます重要となります。

西脇市は「日本のへそ」のまちとして、また、大河ドラマ「軍師官

兵衛」の放映にあわせ「官兵衛の里」として取組を進めておりますが、本市の有する様々な地域資源を活用し、農業を含めた産業観光、食や体験といった多様な観光ニーズに対応した企画提案、積極的な情報発信などを行ってまいります。

二つ目は、「教育の復活」です。

子どもから大人までの全ての世代が力を発揮できる、そんな活力のある西脇市になるよう、教育、文化の面からも取組を進めてまいります。

未来を担う子どもたちは、西脇市の宝です。

学校園、家庭、地域とともに、大切な子どもたちをのびのび育てられる環境を創り上げ、全国一の秋田県に追いつき追い越すことを目標に、小中学生の基礎学力の向上を図り、自己発信力、表現力豊かな子どもたちの育成を目指します。

そして、リタイヤされた方々にも学校支援のボランティアに携わっていただくなど、地域全体で子どもたちを支える取組もより充実させたいと考えております。

心の豊かさを育む教育も重要であり、道徳教育や人権教育を推進し、いじめのない、いきいきと学べる環境づくりも進めてまいります。

また、安全で安心な学校生活を送れるよう、学校園については引き

続き耐震化を図ってまいります。

幼保一元化については、子育て中の方々や地域の皆様の御意見、また「子ども・子育て会議」での議論も踏まえ、検討を進めてまいります。

生涯学習においては、全ての市民が充実した毎日を送り、生涯学習の成果を地域に還元できるような仕組みづくりを進めてまいります。

また、本市は、スポーツや文化水準の高いまちとして、多くのアスリートや文化人を輩出してきた土壌があります。多彩な事業展開を図り、よりスポーツが盛んで、文化の薫り高いまちづくりを進めてまいります。

三つ目は、「住みやすさの復活」です。

市民の皆様が安全に、また安心して住み続けられるよう、防災対策の強化、都市機能の充実、医療や福祉などの向上に努めてまいります。

まずは、防災対策です。

近年、気候変動の影響により、かつては予想もできなかったゲリラ豪雨などが発生し、毎年各地で大きな被害が出ております。

本市においても、水害は大きな脅威であり、被害は最小限に食い止

めなければなりません。

国や県の支援策を最大限に活用し、これまで講じられてきた対策を引き継ぎながら、地域に応じた水害対策を一層進めてまいります。

また、地震への備えでは、市庁舎も含め、公共施設の計画的な耐震化や建替え等の検討を進めるとともに、民間建築物の耐震化も促進してまいります。

災害に対する心構えについてもしっかりと啓発を行い、まず自分の身は自分で守るという意識を市民の皆様に高めていただくなど、ハード・ソフト両面から災害に強いまちづくりを進めます。

そして、住みやすいまちづくりを進めるためには、都市機能の充実が不可欠です。

都市機能の充実については、「創る」、「守る」、「活かす」の三つの考え方が大切です。

一つ目の「創る」については、特に道路など、交通アクセスの良し悪しは都市間競争に大きく影響するものであり、国道・県道については、整備が促進されるよう積極的な取組や働き掛けを進めるとともに、市道など生活に密着したインフラについても充実していかなければならないと考えております。

二つ目の「守る」については、これまで整備されてきた道路や橋りょうなどが老朽化しております。そういった老朽インフラを長寿命化することで、今あるものを守っていくことも必要です。

三つ目の「活かす」については、「創る」、「守る」によるインフラの新たな整備と長寿命化とともに、これらのインフラを有機的に活かすことで、効率的にまちの活力を取り戻していくことが大切だと考えております。

また、中心市街地など、これまで本市を支えてきた都市機能をどのように活かし、どのように再生させていくかも大きな課題です。

地域医療については、「西脇市の地域医療を守る条例」の趣旨を踏まえながら、地域医療の確保、充実に向けた取組を進めてまいります。

その中で、市立西脇病院は、医師や看護師などスタッフの充実と、技術進歩に対応した設備の充実を図ってまいります。

また、地域医療を守る市民活動は内外で高く評価されており、活動の輪がさらに広がるよう、しっかり応援しながら、地域医療に対する市民の皆様の理解を一層深めてまいりたいと考えております。

子育て支援では、安心して子どもを産み育てられる環境づくり、また、地域ぐるみで子どもを育てることができる環境づくりを進め、子育て世代に選んでもらえるまちを目指してまいります。

また、子どもからお年寄りまで、市民誰もが健康に暮らせるよう、健康づくり活動や疾病予防などの取組を進めるとともに、支援を必要とする方々に必要な支援が行き届くよう、各種福祉サービスについてもきめ細かな対応を図ってまいります。

これら三本の柱に加えて、私は「環境」をキーワードとしたまちづくりを進め、「西脇」のブランド力を高めてまいりたいと考えております。

そのためには、再生可能エネルギーの積極的な利活用を図る必要があります。

私は、産学官連携のもとで、くず糸・残り布・古着などから燃料となるバイオエタノールを作る研究を進めてきましたが、この燃料をバスの運行や、公共施設等でのボイラーの運転に活用できると考えております。

また、森林の保全活動から生じる間伐材や、サントリー「天然水の森 ひょうご西脇門柳山」に象徴されるような良質な水資源など、地域に眠る宝を発掘し、積極的に活用していくことで、「環境」をキーワードとした新たな地域の魅力を創り出します。

「M a d e I n N i s h i w a k i =西脇で生産された」、このこと自体が付加価値となるようなブランド力をつけることにより、環境を大事にする優良企業が進出したいと思ってもらえる西脇市を、市民の皆様や企業とともに創造したいと夢をふくらませております。

これまで申し上げてきたことを実現するためには、職員の意識改革も必要です。

職員は、市民の皆様を「お客さま」として捉え、お客さまの立場に立って喜んでいただけるサービスを提供し、市民満足度を高めていか

なければならぬと考えております。

また、市民の皆様からの情報・要望等を共有し、「いつ受け取ったか」、「どのように対応したか」等を明確にしつつ、サービスの品質向上と改善のスピードアップを図ってまいります。

そして、チャレンジする職員を評価する加点主義の考え方のもと、職員が市民サービスの向上や事務の効率化に役立つ提案を積極的にできるような制度を設けるとともに、より自由に議論ができる職場風土を醸成したいと考えております。

以上、私の所信を述べさせていただきました。

私は、かつてのように市民の皆様が自信にあふれ、いきいきと生活できる西脇市を何としても復活させたいと願っております。

従来の市政運営は非常に堅実であり、良い点はしっかりと受け継いでいかなければならないと考える一方で、この厳しい時代だからこそ、民間の新しい発想、大胆な発想が必要であると考えております。

イノベーションという概念があります。

すなわち、今あるものや仕組みを組み合わせることによって、新たな価値を創造し、社会に変化をもたらすことです。

企業におけるイノベーションとは、「生産要素の全く新たな組合せ」であり、行政におけるイノベーションとは、「自治体、企業、N

POなどが持つノウハウやアイデアの全く新たな組合せ」であると思っています。

私が先頭に立ちます。市民、企業、NPO、各種団体などとともに、「オール西脇」で、この地でイノベーションを起こしたいと考えます。

そして、市民お一人おひとりの声に真摯に耳を傾け、ともに考え、ともに歩みながら、全力で市政に取り組んでまいりますことをここにお誓い申し上げます。

どうか、市民の皆様の御理解と御協力を重ねてお願い申し上げますとともに、議員各位におかれましても、格別の御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げ、私の市長就任に当たっての所信表明とさせていただきます。